

1. 計画の目的

本計画は、平成 27 年度上里町水道ビジョンの実現方策に基づき、有効・有収率の向上を図るために実施する。

上里町は、昭和 63 年 3 月に各簡易水道事業を統合する創設認可を取得している。その後、平成 8 年 3 月には第一次拡張事業による変更認可を取得し現在に至っている。当時、民地内に布設された経緯があり民地内に配水管が散在しており、民地内配水管を十分に管理することが難しく、老朽劣化部からの漏水が危惧されている。

本計画により、計画的に布設替えによる更新を行い、漏水率の低減による有収率の向上を図るものとする。

3. 財源内訳

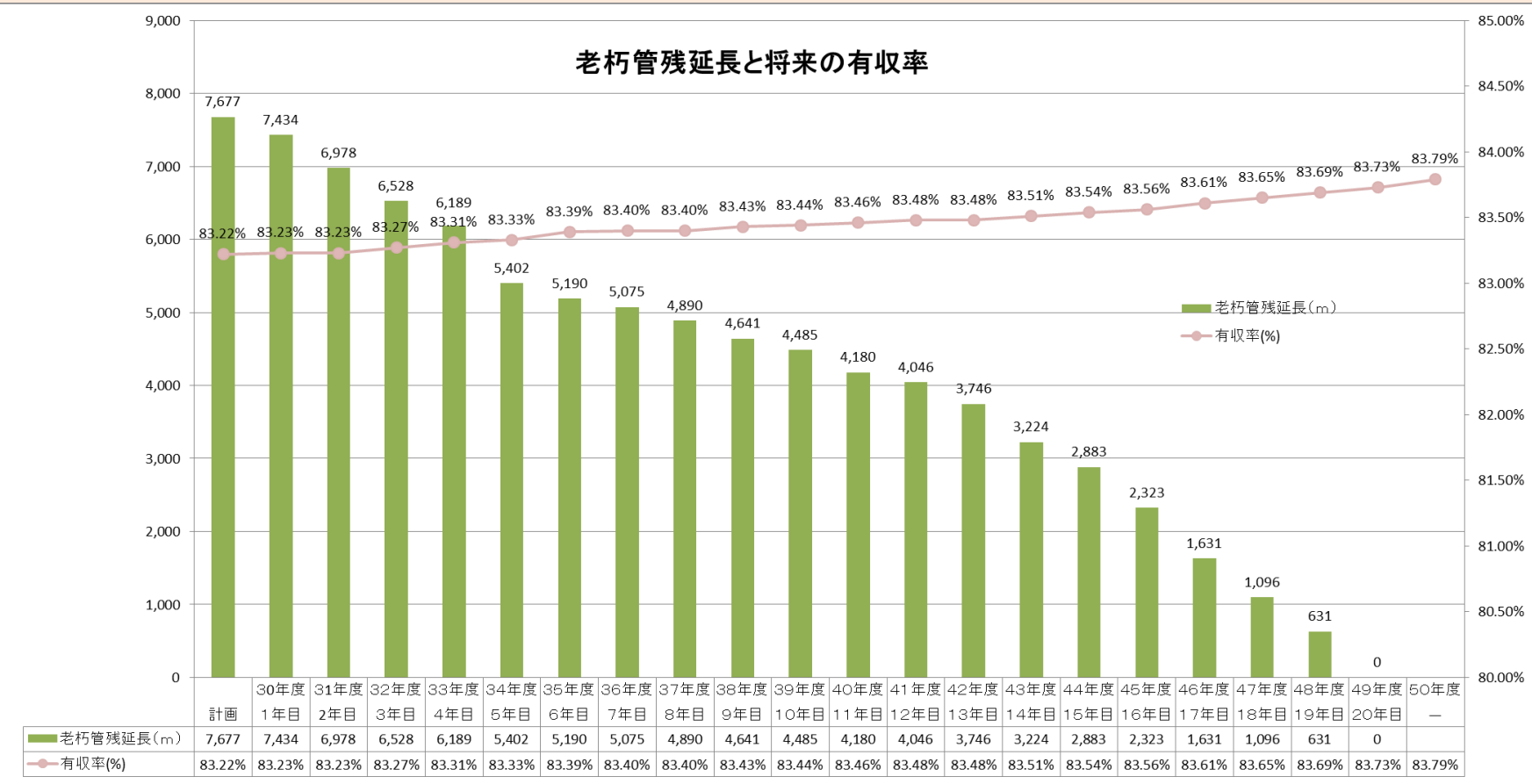
当事業は、国庫補助事業の対象外であるため、主に企業債を財源とする。

2. 事業概要

町内の民地に散在する老朽管は、土地の有効利用を妨げる他、維持管理性、耐久性、耐震性の観点から、老朽管の中でも民地内に布設されている老朽管を優先すると共に、石綿管更新事業（平成 20 年度～平成 29 年度）実施（裏面）に伴う未整備路線を含む更新計画を策定しました。事業期間は、平成 30 年から平成 49 年までの 20 年間とする。

事業計画期間	平成30年度～平成49年度 (20年間)
老朽管計画廃止延長	約7.7km (老朽管全体延長：約90.4km うち)
全体事業費	735,111千円

4. 関係グラフ



- (1) 有収率について、老朽管更新事業計画（事業期間20年）の更新完了時点での有収率は、現在の平成29年度有収率83.22%から 0.57%の向上が見込まれ 83.79%を想定しております。
- (2) 事業費は、年 30,000 千円～40,000 千円を見込んでおり予算の平準化を図ります。

